

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ゆうやけ		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 18 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 18 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報共有・連携(保護者・関係機関)	(保護者) 保護者の皆様とは送迎や面談の時間、情報共有シートの活用等により常日頃から情報の共有を心がけています。 (関係機関) ご本人及びご家庭への支援を包括的に行うため、関係機関との情報共有や連携について意識的に行うよう心がけています。	今後も情報共有・連携の必要性について意識し、積極的な取り組みを行っていきます。
2	ご家庭への支援	定期的に行う保護者面談の機会に加え、ご家庭より相談を受けた場合は随時面談の機会を設けたり必要な支援を行うよう心がけています。 また、保護者の皆様に参加できる研修については書面配布にて情報の提供を行っています。	保護者の皆様安心して相談ができる場所となるよう、引き続き関係性づくりを行っていきます。 また、保護者の皆さまから寄せられる相談内容について様々な知識の中から助言やサポートができるよう、施設外研修を受講の上、更なる知識の習得に努めます。
3	ご家庭への説明	契約関係、個別支援計画等の書類については丁寧な説明を心がけ、同意を得ています。	今後も丁寧な説明を心がけるとともに一方的な説明にならないよう留意します。説明後には分からないこと、確認したいことがないか保護者の皆様に確認を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アセスメントの実施	お子さんの特性や状態等について反映できるアセスメントシートが不足している。	新たなアセスメントの実施に向け、様式や実施方法の変更を行います。 また、お子さんの特性や状況をより一層把握し、把握した情報を基に支援の実施が行えるよう努めていきます。
2	支援終了後の職員打合せと支援の振り返り	職員の退勤時間が異なる。	今後も職員の退勤時間が異なるため、全職員で振り返りは行えませんが、支援終了時の時間に限らず他の時間に振り返りを実施したり、支援記録にて支援の実施状況や結果について把握できるよう努めていきます。
3	ヒヤリハットの内容の共有や再発防止に向けた検討の機会	ヒヤリハットの必要性・重要性についての理解不足。	ヒヤリハットの必要性・重要性について全職員で共有していきます。 また、ヒヤリとした場面については積極的に記録を取り事故につながる要因を特定、対策について検討を行っていきます。